



日本プライマリ・ケア連合学会
関東甲信越ブロック支部 活動報告

発行人
関東甲信越ブロック支部長
高柳 亮

ニュースレター No. 14 (2016. 6)

1. 支部長より退任のご挨拶

関東甲信越ブロック支部支部長 西村 真紀

西村真紀です。2年間支部長を務めてまいりました。ブロック支部の活動は前支部長の梶井先生のご努力で規約の制定がなされ整備された段階で私が引継ぎました。今回はとにもかくにも全都県支部の設立が目標でした。まずは都県の連絡先探しから始まりました。それは地道でけっこう大変な作業でしたが、その過程で会員の皆様のブロック支部へ高い関心を身に染みて感じることができました。多くの会員の皆様をお願いをしご尽力をいただき、9支部がそろいました。そして今年はいよいよ千葉支部も設立の見通しとなりました。大袈裟ですが感無量です。皆様ご努力本当にありがとうございました。事務局もISSさんに決まり運営がスムーズになりました。議員総会の出席者も増え議論も活発になりました。規約の改定や予算など大議論になったことは私の力不足でご迷惑をおかけしましたが、皆様が熱心に議論してくださったことに感謝しています。都県連絡委員会も設立され議論の場が整備されました。神奈川、新潟と地方会も大成功を収めることができました。少しずつですが前進した2年間だったと思います。

この2年私の力は微力でしたが本当に多くの方々が一生涯懸命ブロック支部のことを考えてくださりました。プライマリ・ケアは地域からです。これからますますブロック支部の役割が増してきます。都県支部はそれぞれ問題をかかえ運営が大変かと思いますがブロック内で知恵を共有し協力し活発に活動していきましょう。よろしくお祈りいたします。都県支部と関東甲信越ブロックのますますの発展をお祈りいたします。28, 29年度の支部長、群馬の高柳亮先生にバトンを渡します。2年間本当にありがとうございました。

2. 矢吹清人先生、第2回関東甲信越ブロック支部功労賞受賞のお知らせ

関東甲信越ブロック支部功労賞とは学術大会開催地である関東甲信越ブロックに在住する方で、長年に渡りプライマリ・ケアに従事し、多大な功績のある本会会員を表彰するものです。本学会及び本学会関東甲信越ブロックの基本理念が、それぞれの地での真摯なプライマリ・ケア活動にあることを広く知らしめることを目的とします。関東甲信越ブロック支部が組織した選考委員会によって検討し、関東甲信越ブロック支部長が決定します。

選考委員会で検討した結果、矢吹クリニック院長、矢吹清人先生に決定いたしました。矢吹先生は平成15年より4年間 実地医家のための会の代表を務められ、現場から地域医療の発展に力を尽くされました。H15年より4年間、実地医家のための会の代表を務められ、現場から地域医療の発展に力を尽くされました。旧プライマリ・ケア学会では理事を務められ、現在関東甲信越ブロックで都県連絡委員会副委員長と

してご活躍されています。栃木県では栃木プライマリ・ケア研究会を設立、現在まで会長を務められ後輩の教育に力を尽くされてきました。現在も勉強会の開催など活発に活動をされています。また臨床面では患者さん向けの「なっとく説明カード」を作成されていることは有名で、多くの臨床医の診療の質改善に影響を与えています。その他の顔としては俳人でありマジシャンでもあるユニークで親しみのある先生です。

表彰式は6月12日(日)17時より学術大会会場にて行われました。

3. 都県支部からの報告

【群馬県支部活動報告】

群馬県支部長 高柳 亮

関東甲信越ブロック地方会@ぐんまの実行委員の高柳です。現在ぐんまでは、高玉真光大会長を先頭に毎月1回現地実行委員会を開催し、鋭意準備を進めております。6月現在、企画がほぼ出そろい、日程表も概ね完成いたしました。講演はランチョンセミナーも含めて9つ、ワークショップは6つ、シンポジウムならびに若手医師企画が1つずつで、ポスター発表の場も設けます。これだけでんこ盛りの企画の数々を、医師、歯科医師、薬剤師の方は3000円、他の職種や市民の方は2000円、学生の方は無料で楽しめるという、「超お買得」な地方会であります。

講演には家庭医として、教育者として多方面で活躍され、最近では「ヤブ化」しないためのノウハウなど医師の生涯学習について積極的に発信を続けている藤沼康樹氏、サルコペニアとリハビリテーション栄養のトップランナーで、この分野のエビデンス構築を目指し、国内のみならず世界に向けて発信されておられる若林秀隆氏、認知症の臨床ならびに研究の第一人者で、多くの著作がある山口晴保氏、難病の訪問看護の分野では草分け的存在である牛久保美津子氏、在宅や緩和ケア領域の臨床研究に精力的に取り組む若手のホープ浜野淳氏らが登場します。シンポジウムには、介護の現場に身を置き、様々な実態調査をもとにイノベーションを追及し、地域包括ケアについて積極的に提言されている堀田聡子氏、地域医療に取り組みながら、口腔ケアや摂食嚥下支援の大切さを強調し、被災地支援にも東奔西走されている古屋聡先生らが登場、ワークショップでは、ポリファーマシーについて現場で質改善や研究に取り組み、現在執筆や講演に引っ張りだこの矢吹拓先生らに楽しい企画を作ってください。

今年は地方会専用ウェブサイトを立ち上げ、事前登録を受け付けることも決まりました。準備が整いしだいでご連絡させていただきます。

専門医制度がどうなっていくのか情勢は混沌としておりますが、わたしたちの日本プライマリ・ケア連合学会は今まで通り、多くの会員みなさんが手を携えて前に進めるように、この「ぐんま」でも、様々な職種、様々な世代がそれぞれに楽しく学べて、互いに交流できる地方会をつくることができると考えております。みなさん是非今年の秋にはぐんまに足をお運びください。お会いできるのを楽しみにしております！

関東甲信越ブロック地方会@ぐんま

開催日： 2016年11月27日(日)

開催場所：群馬県社会福祉総合センター (新前橋駅から徒歩5分)

大会長： 高玉 真光 (老年病研究所附属病院院長)

テーマ： 多職種協働と在宅医療

参加費： 医師・歯科医師・薬剤師：3000 円、他の職種・市民の方：2000 円、学生：無料

【埼玉支部活動報告】

埼玉県支部長 中根 晴幸

『埼玉支部の今年度行事計画について』

まず今年の11月に予定されている28年度の支部総会と学術集会の予告をいたします。例年通り大宮ソニックシティで、今年は曜日が変り11月18日(金)に昨年と同じ会場(906号会議室)で行われます。今年は認知症に関わる包括的対応を主題として、教育講演を埼玉医大神経内科の高橋一司先生にお願いしています。各地域、各方面での取り組みに関わる一般演題発表を予定し、次号で詳細をお知らせします。

次に平成29年度の第6回関東甲信越ブロック地方会開催を埼玉県支部がお引き受けした、その後の経過を報告します。大きなテーマですので、世話人会上程する前段階としてのキックオフミーティング(準備委員会)を2月25日に開催し、大会長の選出、開催日時、会場を始め、シンポジウム・ワークショップなどについて具体的な内容の検討にとりかかりました。地方会運営本部をさいたま市民医療センター内に置き、事務局担当責任者に同センターの石田岳史副院長が、また大会長には自治医科大学附属さいたま医療センター長の百村伸一先生が推挙されました。

地方会開催日時は平成29年11月19日(日)9時より予定され、交通の便がよい大宮ソニックシティに複数の会場を確保する方針です。これら運営委員会での検討内容はその後4月12日の世話人会に報告され、承認を受けています。今後も各方面と協力のもとに準備を進め、皆様のご期待に応えられる学会開催を目指したいと思っておりますので、よろしくご支援お願いいたします。

4. 平成28年度 関東甲信越ブロック直接補助活動の募集について

関東甲信越ブロック支部長 西村真紀

本年度もブロック内のさまざまな活動に対しての補助を考えています。

応募の条件は

- ①都県を超えたメンバーによる横断的活動
- ②地域のプライマリ・ケア領域の発展に寄与する多職種活動

上記いずれかで、都県支部からの補助が得られない活動に対して補助を行います。

例年1件あたり10万円で2~3件に補助金が支払われてきましたが、今年度の補助金の額は15万円(3件)で、11月の議員総会で決定します。

補助金を申請される都県支部(もしくは個人・団体)の代表者(学会員に限る)は、下記内容を記載した活動計画書を、日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック支部事務局(E-mail: pckk@iss.jp.com)宛てにお送り下さい。(ファイルが必要な場合もメールでお知らせ下さい)。

締め切り：平成28年11月15日

平成28年度活動計画書(様式)

1. 活動名称
2. 個人・団体名・支部名など

3. 代表者の会員番号・勤務地・役職・氏名
4. 代表者連絡先（電話・FAX・E-mail）
5. 活動期日（もしくは期間）
6. 活動の概要説明（活動の目的・意義・方法等の他、人的資源・資金・必要物品等、予算根拠となる事項についても御記載下さい）
7. 予算計画

収入	金額（円）	備考
日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック支部		
(他の収入を記載)		
(他の収入を記載)		
計		

支出	金額（円）	備考
(細目を記載 例：会場費等)		
(細目を記載 例：通信費等)		
(細目を記載 例：広報費等)		
(細目を記載 例：会議費等)		
(細目を記載 例：旅費等)		
(細目を記載 例：消耗品費等)		
計		

- 各都県支部にはこの活動費とは別に、上限一律の活動費補助（昨年度は10万円）が計上され、そちらは活動計画書の提出は必要ありません。都県支部の基礎的活動費を申請しないようお願いします。
- 活動計画は、それを承認する「議員総会」でご説明いただく必要があります。代表者（または代理）の方は必ず「議員総会」にご出席いただきますようお願いいたします。
- 決められた額を超えない範囲での実績に対する補助となります。
- 補助を受けた活動は翌年度の「議員総会」等で報告をしていただきます。

関東甲信越ブロックでは、ニュースレターにてブロック会員の皆様の活動報告なども掲載する予定です。掲載希望の方は以下メールアドレスまでご連絡いただければと思います。

日本プライマリ・ケア連合学会 関東甲信越ブロック支部 事務局
kanto_koshinetsu@primary-care.or.jp
